

科目番号	JA202				
科目名	森林機能保全2【選択科目】				
担当教員	金子 哲朗(森林大学校専任教員)				
科目区分	高度化コース・選択科目	人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	15	コマ		(30 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目	○	左の実務経験の内容	治山工事の計画		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—	左の実務経験の内容	—		
実務経験を活かした授業内容	森林土木技術者としての実務経験を活かし、治山ダム計画の講義演習を行う。				

目的	森林の土砂流出防止機能を補完するために必要となる治山ダムの計画を行うため、荒廃溪流を現地調査のうえ山地災害危険地区の危険度を判定するほか、現況に応じた適切な治山ダムの計画方法を習得する。	
概要	現況や保全対象に応じた適切な治山ダムの計画について、現地調査や測量を実施のうえパソコンにより設計図等の計画書作成までの実務的な演習を行う。	
キーワード	森林の公益的機能、土砂災害、土石流、土砂災害危険地区、治山ダム	
関連する科目	森林機能保全1、測量学、測量学実習、情報処理2	
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
		多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	履修態度50%、演習成果50%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	概論	兵庫県における治山対策の推進方策
2	概論	斜面の安定について
3	現地調査	溪流の荒廃状況、山腹崩壊の有無
4	現地調査	既存施設の有無、堆砂状況
5	現地調査	測量
6	現地調査	現地測量成果の図化、写真整理
7	治山ダム計画	兵庫県治山技術方針
8	治山ダム計画	兵庫県治山技術方針
9	治山ダム計画	治山ダム設計
10	治山ダム計画	治山ダム設計
11	治山ダム計画	治山ダム設計
12	治山ダム計画	治山ダム設計
13	治山ダム計画	数量計算、計画額の算出
14	治山ダム計画	数量計算、計画額の算出
15	復習	治山ダム計画の発表

テキスト	授業時に講師から配布
参考書	森林科学(文部科学省 2017)、森林土木学(朝倉出版 2021)
関連する資格	
備考	